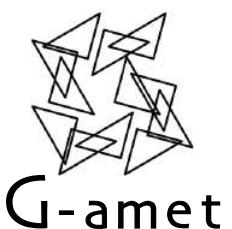




岐阜大学 環境ユニバーシティ学生推進室（G-amet）の取り組み ～自然環境と共生し地域に貢献する持続可能なキャンパスを目指して～



東海国立大学機構 岐阜大学
環境ユニバーシティ学生推進室
TOKAI NATIONAL HIGHER EDUCATION AND RESEARCH SYSTEM
GIFU UNIVERSITY STUDENT PROMOTION OFFICE FOR SUSTAINABLE CAMPUS

柴山 晴香 地域科学部1年
平田 万結 地域科学部1年
堀部 真生 応用生物科学部1年
小崎 文太 地域科学部2年
永治 太一 地域科学部2年
豊川 雛衣 応用生物科学部3年



ジャメット G-ametってどんな団体？

- 設立年：2018年9月10日
- 部員数：27（4学部1研究科）
- 活動場所：主に岐阜大学キャンパス & 全国各地に出張したり、オンラインで国際大会に出場することも！



2021年は、上尾丸山公園（埼玉県）、東京大学、なごや生物多様性センター、琵琶湖博物館、大阪大学、大阪府立大学 など
2022年は、北海道大学、国立科学博物館筑波実験植物園、東京大学、三重大学、琵琶湖博物館、深泥池（京都府）などを予定



廃棄物・資源循環部門

古本市や資源分別回収を通して、身近なゴミや資源について考える



緑化・景観管理部門

キャンパスの緑化を通して、利用者が気持ちよく過ごせる空間づくりを目指す



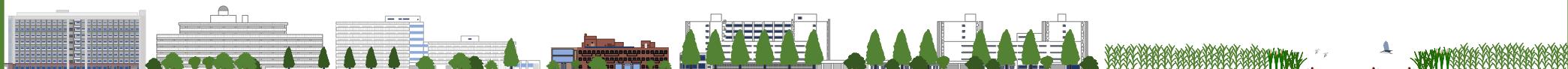
生物多様性保全部門

岐阜大学の知恵と力を結集して学生主体の自然再生プロジェクトに挑む



ESD・環境教育部門

多様な主体と共に学び、環境問題の正しい認識と理解を目指す



ジャメット G-ametってどんな団体？

活動方針



“大学生だからできること”に取り組む

私たちは環境問題の解決や環境配慮の背景に潜む社会的な思惑や利害を考え、慎重に行動する必要があります。学生はそうした思惑や利害に囚われず行動できる存在であるからこそ、従来の環境活動に疑問を投げかけ、多様な意見に耳を傾けながら、正しい理解と認識を持って活動に取り組むことを目指します。

すべての人の環境意識の向上

環境問題への正しい理解・認識を含む環境意識の向上は大学キャンパスから地域へと波及していくことが理想的です。まずは、教職員も含めた大学全体の環境意識の向上を目指します。さらに、学生一人ひとりが環境に配慮した行動を当たり前に行えるようになり、そうした高い環境意識と正しい理解・認識をもった学生を社会に輩出することを目指します。

PDCAサイクルを意識する

環境問題は、非常に複雑であるため、その影響や原因をすべて明らかにすることは困難です。その「不確実性」に対して、私たちはPDCAサイクルを意識して、目的・目標を持って継続的な活動を、時には科学的知見によってその効果を検証しながら進めていきます。また、多様な主体が協働することで個人ではできなかったことを実現できる団体を目指します。

すべての人にオープンな取り組みを

私たちの活動は透明性を持って、学内や地域にオープンな取り組みとして進めます。私たちの考え方や対策手法が適切なものであるかどうか、幅広く意見を求め活動に反映させていきます。また、立場や世代、専門分野を超えて環境問題に取り組み、多様な主体が議論する空間の提供を目的として学生だけでなく教職員や地域住民など対象としたイベントを開します。

Action (行動・実行)

私たちは活発に
物事に取り組みます

Management (管理)

PDCAサイクルをもとに活動を管理し、
より良い取り組みができるように発展させていきます

Environment (環境)

私たちは学内の身近な環境から
広い環境を考えていきます

Together (一緒に)

皆さんと一緒にできることから
取り組んでいきます



古本市



学生や研究室から回収した本を無償で提供

古本回収BOXの設置や研究室をまわって不要になった本を回収

2019 大学祭（5月）、大学祭（11月）

2020 コロナのため中止

2021 1学部に譲渡スペースを設置（10月～11月）

2022 大学祭（5月）、大学祭（11月）、4学部に譲渡スペースを設置（10月～11月）

本の循環や専門書の入手、研究室整理の点から、学生と教員の双方から好評をいただいた

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



古本市

本や参考書の無償提供による教育の充実
ごみ焼却時に発生するCO₂削減
資源の有効活用



17 パートナーシップで目標を達成しよう



16 平和と公正をすべての人々に



15 陸の豊かさも守ろう



14 海の豊かさを守ろう



13 気候変動に具体的な対策を



キャンドルナイト



商店街や大学で集めた廃油・空瓶を利用したキャンドル製作 & イベント開催

東京オリンピック・パラリンピック公認プログラム

- 2021年4月に「2020キャンドルナイトリレー」岐阜会場として商店街と共同開催
- 地域住民と「日常生活の中で私たちに何ができるか」をテーマにディスカッションを開催
- 2022年4月に「学生に環境に関心を持ってもらうこと」を目的に岐阜大学のシンボルゾーンでキャンドルを灯すイベントを開催

世代や場所に捉われず環境問題について学ぶ機会を提供！



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



キャンドルナイト



大学生協との連携

キャンドル燃焼時に発生するCO₂排出
廃油の再利用

地域の人々との交流

16 平和と公正をすべての人に



15 陸の豊かさも守ろう



14 海の豊かさを守ろう



13 気候変動に具体的な対策を

